

インテグリティ教育

問い

みなさんにとって、
バスケットボールを通じて
子どもが成長したなあと感じるとき
どのようなときでしょうか？

さて、以下から不適切な行いを考えてください。

高圧的な指導、

大声で怒鳴る

目を合わせない、
笑いかけない

特定の子どもを
放置する

活動に参加させない、
一方的に練習から
排除する

必要な賞賛をしない、成長を価値づけしない

必要な情報の提供や
共有を怠る

子どもの気持ちや
心理的な危機に
気づけていない

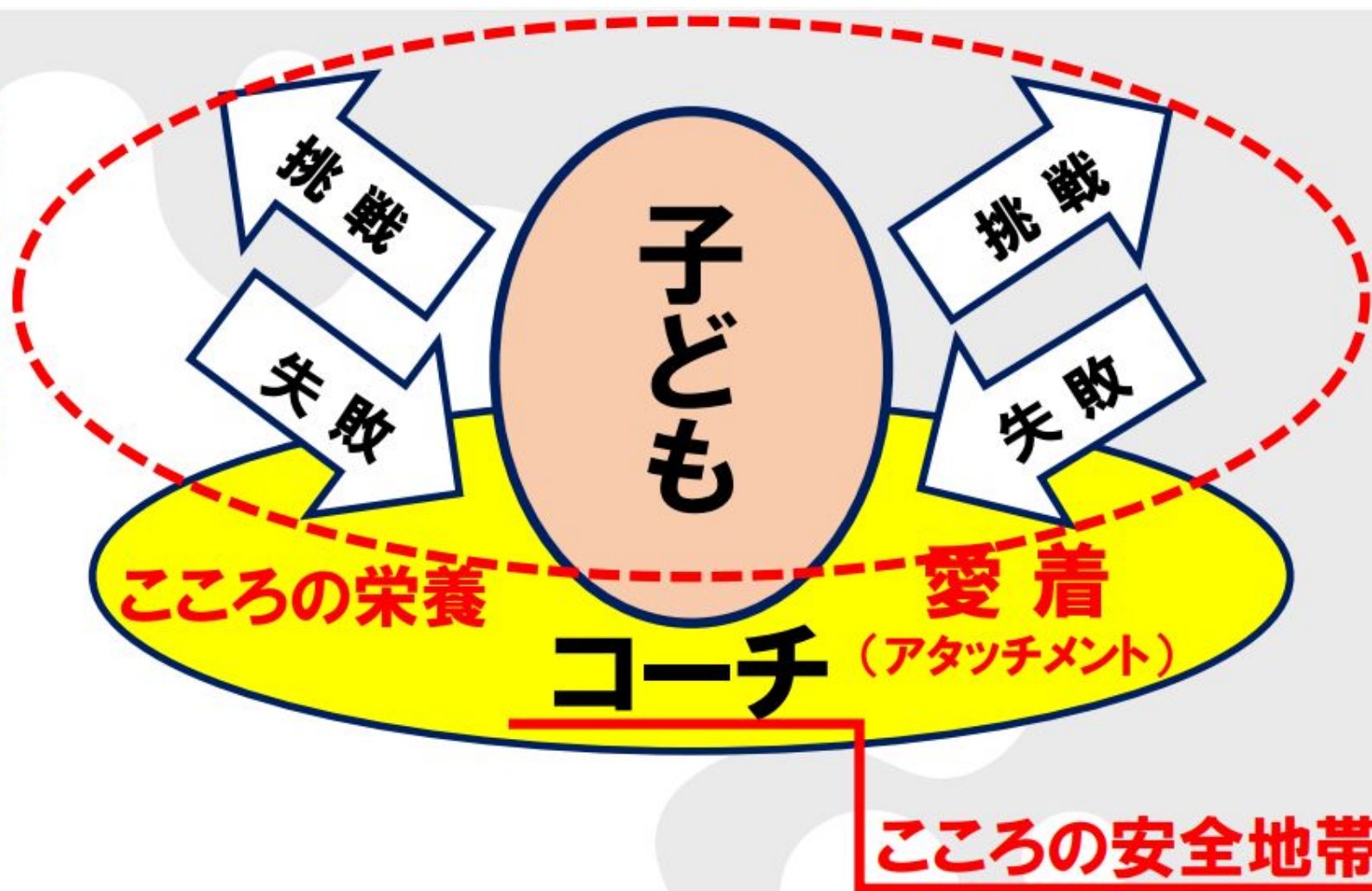
- 1、高圧的な指導、大声で怒鳴る
- 2、目を合わせない、笑いかけない
- 3、特定の子どもを放置する
- 4、活動に参加させない、一方的に練習から排除する
- 5、必要な賞賛をしない、成長を価値 づけ ない
- 6、必要な情報の提供や共有を怠る
- 7、子どもの気持ちや心理的な危機に 気づけていない

この7つの不適切な行動をしないためには？

アタッチメント

コーチング

主体的な探索



ココロの栄養

愛着

(アタッチメント)

コーチ

ココロの安全地帯

アタッチメントのつくり方

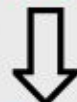
- 目を合わせる
- 笑いかける
- 語りかける
- 触れ合う
- 感謝を伝える
- 努力や過程を認める



自分のことを
気にかけてくれている



自分のことを
分かってくれている



安心して
挑戦することができる

1、高圧的な指導、大声で怒鳴る

指導成果がでるように

練習メニューを検討しよう

2、目を合わせない、笑いかけない

目を合わせ、笑いかけること
で「見ているよ」「大丈夫
だよ」という

安心感を子どもに与える

3、特定の子どもを放置する

積極性や努力を

正しく評価する

4、活動に参加させない、一方的に練習から排除する

苦手さを理解し、

スモールステップでの取り組みを重要視し、

自信を持って練習に参加するよう導く

5、必要な賞賛をしない、
成長を価値づけない

「よく頑張ったね」と 努力を
認め、「できたね！よくやっ
た！」と賞賛する

6、必要な情報の提供や
共有を怠る

指導内容を同じコーチ陣と共
有する

7、子どもの気持ちや心理的な危機に気づけていない

危険の察知をする

子どもたちの未来に
責任を持つ！